



1913(大正2年)  
国産初の腕時計「ローレル」を発売



1939(昭和14年)  
視覚障害者用時計を宮内省(当時)の注文で製造  
失明した傷痍軍人に支給



1964(昭和39年)  
東京オリンピックで公式計時を務める  
以後、5大会で公式計時を担当



1984(昭和59年)  
日本初の大型からくり時計  
「セイコーマリオンクロック」を設置



2004(平成16年)  
機械式腕時計の一貫生産を行う  
「雫石高級時計工房」を開設



2005(平成17年)  
無水銀酸化銀電池を開発  
水銀による環境負荷の低減を実現



1970(昭和45年)  
大阪万博で世界初の無線  
コントロールシステムを  
採用した電波時計を設置



1987(昭和62年)  
IAAF世界陸上ローマで  
公式計時を務める  
以後、継続して担当

先駆者としての取り組み



1930(昭和5年)  
日本初のカメラ用シャッター  
の製造を開始



1969(昭和44年)  
世界初のクォーツウォッチ  
を発売



1985(昭和60年)  
世界初の外食産業用  
オーダーリングシステムを発売



1997(平成9年)  
世界初の内面累進遠近  
両用レンズを発売



1999(平成11年)  
世界初のスプリングドライブウォッチ  
を発売



2012(平成24年)  
世界初のソーラー GPS ウォッチ  
「セイコーアストロン」を発売

技術開発



1881(明治14年)  
創業(創業者 服部金太郎)



1894(明治27年)  
銀座のシンボルとなる  
初代時計塔竣工



1932(昭和7年)  
現在の時計塔  
(現 和光本館)竣工

時計塔の歴史



1923(大正12年)  
関東大震災  
火災の熱で溶けて損壊した修理預かり  
時計(左)を新品をもって弁済  
(右:新聞広告で弁済を告知)



1945(昭和20年)  
焼け野原に立つ時計塔  
戦後、ショーウィンドウディスプレイやウエストミンスター  
チャイムで街を活気づける

災害時の対応



1917(大正6年)  
女性用プレスレットタイプ腕時計を発売



1953(昭和28年)  
日本初のテレビコマーシャル放送  
メディアを通して正確な時刻を知らせる  
「時報CM」を提供

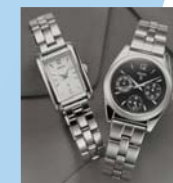
ライフスタイルの提案

# 企業価値の系譜 セイコーの 130年



1984(昭和59年)  
音声時計「ピラミッドトーク」  
を発売

1979(昭和54年)  
「なぜ、時計も着替えないの。」キャンペーン  
腕時計をファッションの一部ととらえ  
複数所有を提案



1995(平成7年)  
働く女性のためのウォッチ  
「セイコー ルキア」を発売



2007(平成19年)  
東京マラソンでは第1回大会から  
公式計時を担当し、  
市民ランナーをサポート

2000



2009(平成21年)  
和光本館が「近代化産業遺産」  
に認定される



2012(平成24年)  
時計塔竣工80年



写真提供: 共同通信社

1995(平成7年)  
阪神・淡路大震災  
仮設住宅用掛時計5,300個を寄贈



2011-2014(平成23-26年)  
東日本大震災復興支援プロジェクト  
「SEIKO 130 Actions」を展開

# SEIKO 130 Actions

絆

私たちの、思い

ここに貼り出されているのは、和光に関わる人々から寄せられた「今の思い」です。  
店内には、まっさらなシートをご用意しております。ぜひ、あなたの「今の思い」をお聞かせください。  
空間に限りはありますが、できるだけこの場に掲出させていただく予定です。

震災からの復興をめざしたウィンドウディスプレイ (2011年4月～5月)  
和光本館 東ウィンドウでは、被災地や被災者の方々に向けて「私たちの、思い」というテーマで  
お客さまにご記入いただいた多くのメッセージを掲出しました。  
銀座の街全体に元気を取り戻したいという思いも込めて実施しました。

●(株)和光



2012年3月11日和光時計塔で震災の発生した時刻に特別チャームを実施

- (株)和光



岩手県大槌町の小学校へクリスマスプレゼント

- (株)和光
- セイコーオプティカルプロダクツ(株)
- セイコー NPC(株)



職場のメンバー有志で被災者へ支援物資を送付

- 個人
- セイコーウオッチ(株)
- セイコーインスツル(株)



セイコー創業130周年記念特別展で東北の子どもたちの描いたクロックを展示し、寄贈

- セイコーホールディングス(株)



2012 カヌータイムシステムジャパンカップ 第3戦(福島)を無償で計時支援

- セイコータイムシステム(株)



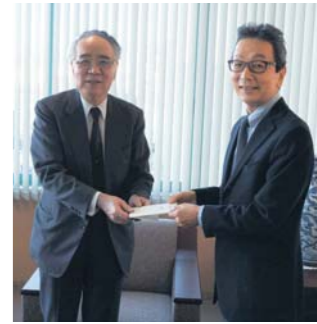
小山事業所文化交流会「東日本物産展」を開催

- セイコーインスツル(株)



東北6県の県鳥の入った「メッセージ入りポストカード」を配布

- (株)和光



「2011年商談会」売上の一部を日本眼鏡販売店連合会へ義捐金として寄付

- セイコーオプティカルプロダクツ(株)



カメラ映像機器工業会の復興支援活動への寄付および協力

- セイコープレジジョン(株)



FCバルセロナ選手のサイン入りクロックオークションを実施、収益を寄付

- セイコーウオッチ(株)



千葉県松戸市で幼稚園 園庭 除染ボランティア活動に参加

- 個人
- セイコーオプティカルプロダクツ(株)



INAC 神戸の選手のユニホームで東日本大震災チャリティーオークションを実施

- セイコーウオッチ(株)



東北の小学校・中学校・高等学校・吹奏楽団へチューナー・メトロノームを寄贈

- セイコーホールディングス(株)



米国サッカー代表ドノバン氏によるチャリティーサイン会を米カリフォルニア州で実施

- セイコーウオッチ(株)



宮城県石巻市で災害ボランティア活動に参加

- 個人
- セイコー NPC(株)



静岡県駿東郡小山町の道の駅で募金・チャリティー演奏を実施

- 個人
- セイコーインスツル(株)



東日本大震災復興支援ライブ「My Pace 2012」を盛岡市で開催

- 個人
- セイコーインスツル(株)



「復興アクション」キャンペーンに参加

- セイコークロック(株)



宮城県災害復興ボランティア活動に参加

- 個人
- セイコープレジジョン(株)



岩手県宮古市「しあわせの大漁旗コンサート」に協賛

- セイコーホールディングス(株)



那須塩原市長寿センターで炊き出しに参加

- 労働組合
- セイコー NPC(株)



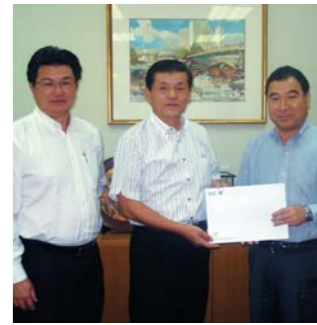
気仙沼写真真救済プロジェクトを支援

- セイコーホールディングス(株)



東日本大震災復興サポートツアーに参加

- 個人
- セイコーウオッチ(株)



シンガポールで東日本大震災 義捐金募集活動を実施

- セイコーインスツル(株)

## その他の活動

募金や物資支援、ボランティア、チャリティーなどの活動に加え、国際人道支援組織などを通じて被災者の方々のご要望を確認し、掛時計・目ざまし時計などのクロック約3,700個を寄贈しています。(2012年9月末現在)

### 主な寄贈先

- ・石巻市仮設住宅
- ・石巻市社会福祉協議会
- ・東松山市社会福祉協議会
- ・山元復興応援センター (宮城県亶理郡)
- ・福島県災害対策本部 (浪江町、葛尾村、楳葉町)

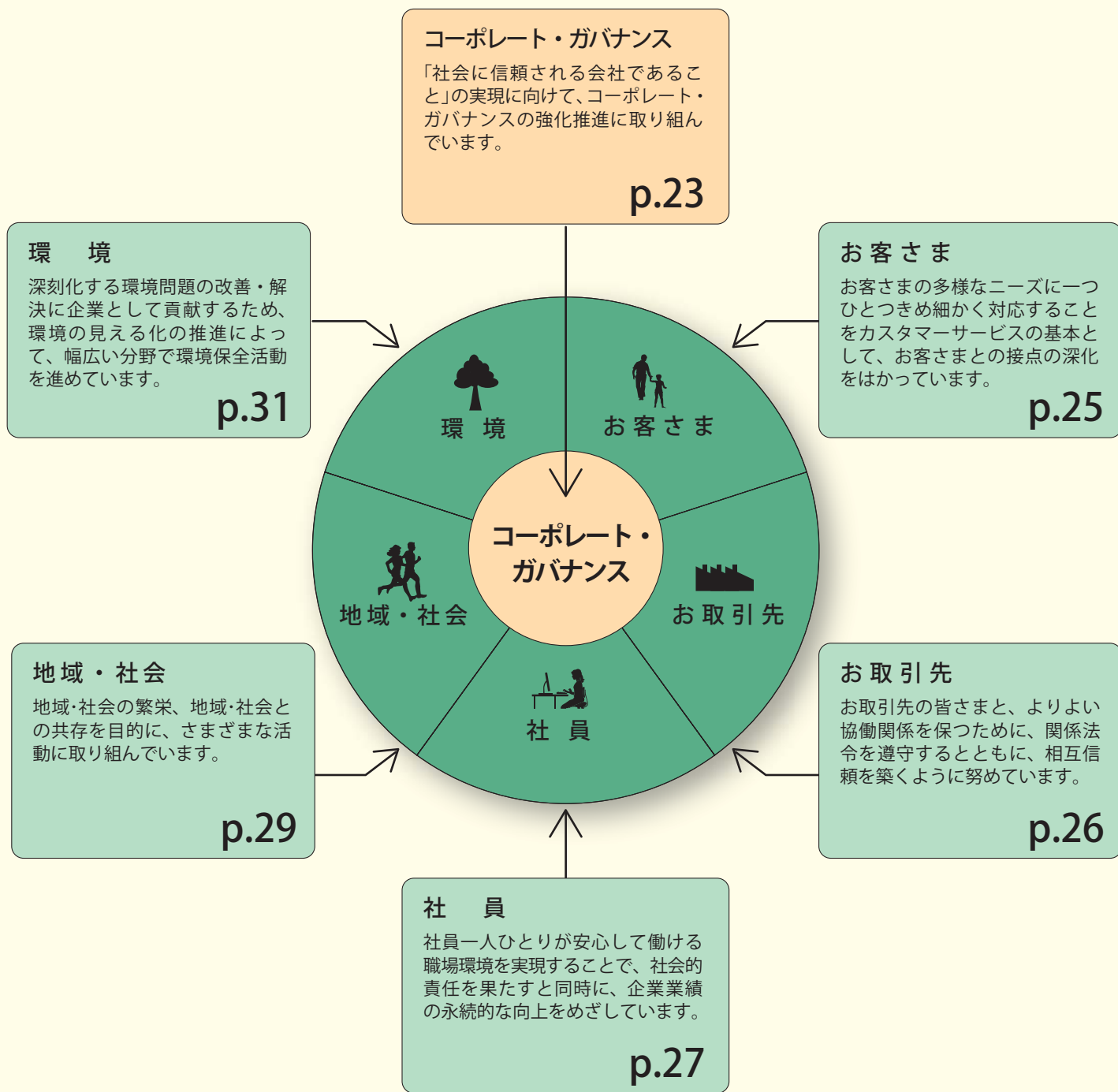


被災地各地へ寄贈したクロック

セイコーホールディングスグループでは、東日本大震災復興支援プロジェクト「SEIKO 130 Actions」を展開しています。「SEIKO 130 Actions」は、2011年に創業130周年を迎えたセイコーホールディングスグループが、東日本大震災の被災地復興に貢献すべく、2014年3月10日までの3年間で130以上の支援プログラムを実行していくことをめざしたプロジェクトです。会社としての取り組みだけでなく、有志のグループ・個人で行う支援もプログラムに加え、各々が自己申告、社内登録して実施するもので、全社員・全社一丸となって取り組める活動として推進しています。



# CSR活動報告の概要



CSR編 編集方針

- 読みやすくするために文章を簡潔にし、ビジュアルも大きくして内容を把握しやすくしました。
- CSRに対する初歩的な質問などに答える「新入社員イケミズのここが知りたい! SEIKOグループ」というコラム記事を設け、わかりやすい解説に努めました。

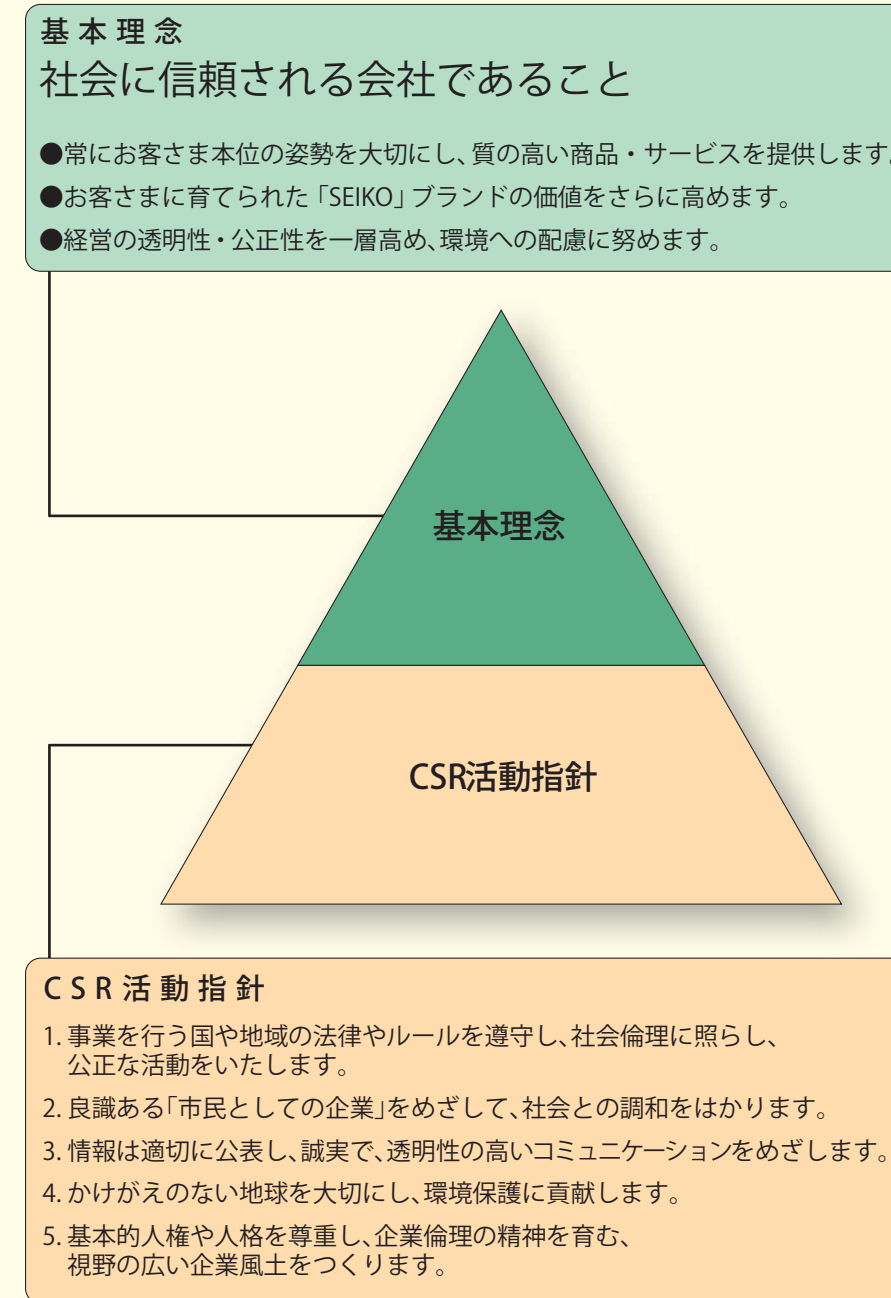
## [報告対象範囲と期間]

本レポートは、セイコーホールディングス(株)および事業会社®における2011年度(2011年4月1日から2012年3月31日まで)の活動を中心に報告しています。  
※セイコーウオッチ(株)、セイコーインスツル(株)、セイコープレジジョン(株)、セイコーNPC(株)、セイコークロック(株)、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、(株)和光、セイコータイムシステム(株)の各社です。

## [参照ガイドライン]

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン 2006」、環境省「環境報告ガイドライン 2007年版」「環境会計ガイドライン 2007年版」、ISO26000、日本経団連「企業行動憲章」

# セイコーのめざすCSR



セイコーの変わらぬテーマは、「確かな品質」によってお客さまに安心と満足をお届けすること。グループ経営の基本理念を「社会に信頼される会社であること」と定め、「確かな品質」こそがセイコーとお客さまをつなぐ最良のコミュニケーションであることを社員一人ひとりが心に刻み、CSR活動を推進しています。

セイコーホールディングスグループのCSR



## [ウェブサイトとの連携について]

本レポートではセイコーホールディングス(株)および各事業会社のCSR活動のエッセンスをお伝えし、ウェブサイトにも同様の情報を掲載しています。内容は随時改訂されますので、最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.seiko.co.jp/csr/report/>

## CSR (Corporate Social Responsibility)

企業の社会的責任のこと。具体的には、ステークホルダー(顧客、取引先、従業員、地域・社会、株主など)との関係を重視しながら、社会的公正性を保ち、環境に配慮することなどで、持続的成長をめざしていく活動を指す。

# コーポレート・ガバナンス

グループの基本理念である「社会に信頼される会社であること」を実現するために、法令の遵守、経営の透明性・公正性の確保、社会倫理の尊重を重要な経営課題と位置づけ、その実現に向けたコーポレート・ガバナンスの強化推進に取り組んでいます。



## 透明性と合理性を持った経営への取り組み

透明性と合理性を持った経営を推進するために、社内意思決定プロセスの充実、経営評価体制の強化、健全な労使関係の確立に努めています。

- 1. 社内意思決定プロセスの充実**
  - 経営戦略会議の常設
  - 経営協議会（グループ会社社長会）の常設
  - 社内委員会制度の拡充
- 2. 経営評価体制の強化**
  - 社外取締役の増員
  - 経営に関する内部牽制（内部監査等）機能の充実
  - 外部通報窓口の設置
- 3. 健全な労使関係の確立**
  - 労使懇談会の充実

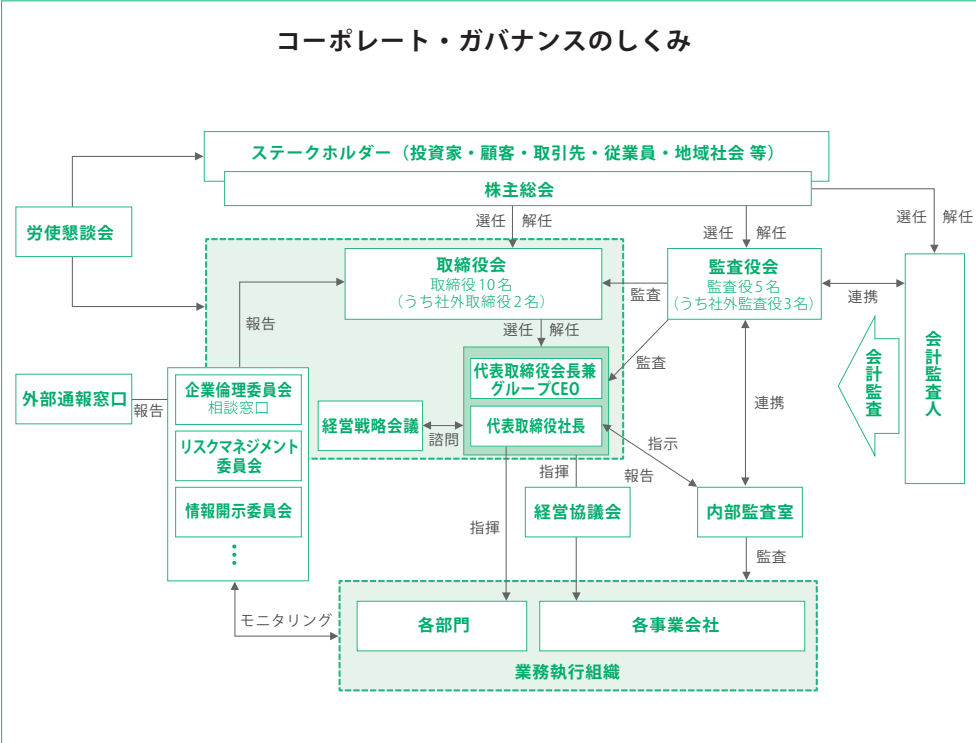
## コーポレート・ガバナンス体制

セイコーホールディングス(株)は、持株会社として事業ごとの経営責任の明確化をはかることも、迅速な経営判断と機動的な施策の実行を通して、経営環境の変化に対応できる組織体制をとっています。

取締役会において常に連結事業会社の状況を把握し、必要に応じて各社より説明を受け、迅速適切な意思決定を行います。また、代表取締役の諮問機関である経営戦略会議においては、業務執行の基本事項を審議し、経営活動を適正迅速に推進することをめざしています。一方、経営協議会は、当社役員と各事業会社の社長で構成され、各事業会社の業務執行状況の把握に努めています。

## リスクマネジメント

セイコーホールディングス(株)は、リスクの予見予防ならびに危機発生時の被害最小化をはかることを目的に、リスクマネジメント規則を設けています。また、全社的なリスクマネジメントを推進するために、代表取締役を委員長とし、本社部門の委員を中心に構成したリスクマネジメント委員会を設置しています。委員会で、経営に甚大な損失をもたらす恐れのある重要リスクへの対応などについて審議するとともに、さまざまなリスクを識別・共有して活動を進めています。さらに、経営戦略会議での報告や、経営トップによる定期的なレビューを通じて、経営と一体となったリスクマネジメントのPDCAを確実に展開しています。各事業会社とも連携し、これらの活動をグループ全体で推進しています。



## 情報セキュリティ

セイコーホールディングスグループ各社は、情報システム資産が経営資源として極めて重要であるとの認識に立ち、サイバーホールディングス(株)と同等の情報セキュリティポリシーを適用しています(サイコタイムシステム(株)は独自規格を適用)。

サイコインストル(株)は、操作ミスや情報管理への理解不足による情報漏洩などを防ぐために、電子メールを利用する全社員を対象とした「GoogleApps利用認定試験制度」を2012年に導入しました。利用資格の有効期限は1年間で、更新試験に合格しなければ、アプリケーションを利用できない決まりとなっています。

サイコプレシジョン(株)は、高度な精密加工技術をベースに、電子、光学、情報分野に向けてIT関係の各種パーツ・デバイスソリューションを提供しています。特にシステム事業においては、顧客情報や最先端の技術情報を取り扱っているため、セキュリティの確保には細心の注意を払うとともに、必要なリスクマネジメント体制下で慎重に管理しています。2004年8月に開発部門が国際規格ISO/IEC27001の情報セキュリティシステム(SMS)の認証を受けました。



セイコーインストル(株) 避難訓練

## 災害対策

セイコーホールディングス(株)は、大規模災害発生時に社員一人ひとりが取るべき行動をまとめた災害対策マニュアルの配布、社員と家族の安否を確認するための専用システムの導入、非常時用資材の確保・配布などを行い、社員への安全確保に努めています。

セイコーインストル(株)は、大規模災害発生時の交通遮断による一時的帰宅困難者の発生に備え、国内拠点に水・食料、防寒シート、その他の防災備蓄品を計画的に準備しています。備蓄品は、グループ内拠点間の支援にも有効に活用します。多くのお客さまが訪れる和光本館では、自衛消防隊を組織し、防災設備や避難経路など日常の点検を毎週行い、万一火災や地震が起きた際には、被害を最小限に食い止め、お客さまの安全を確保するように努めています。

## 事業継続経営

セイコーホールディングスグループは、事業継続経営についての取り組みを進めています。

セイコーインストル(株)の製造拠点では、リスク発生時においても継続的な製品の供給ができるように、生産を中断させないリスクマネジメントを実施しています。職場における日常的な作業改善から、設備投資を必要とする抜本的な改善、さらには工場建設時の免震構造の採用にいたるまで、計画的に取り組んでいます。

## 情報開示の充実と公平性への配慮

セイコーホールディングスグループ各社は、商品やサービスの最新情報を早く正確にお伝えするために、ウェブサイトの充実を努めています。

セイコーホールディングス(株)では、経営情報の正確さと開示の公平性に細心の注意を払っています。株主・投資家の皆さまに対する情報開示のため、四半期ごとに決算説明会を開催するほか、株主さま向け年次報告書とコーポレートレポートを年1回発行するとともに、決算発表資料や商品などに関するニュースリリースを速やかにウェブサイトに掲載して情報を伝達しています。一方、インサイダー取引防止という観点から経営情報の管理には十分に注意しています。

## 海外で経営活動が高く評価される

2012年8月、セイコーオプティカルプロダクツ(株)欧州現地法人の英国事業所が、英国のコンサルティング会社 Investors in People (略称IIP) から組織としての最高評価である「ゴールド評価」を受けました。

1993年に発足したIIPは、英国で最も有名な認証機関として知られています。戦略、事業計画、売上・利益の伸び、取引先からの評価、社員教育、社会貢献などの評価項目の中でも、特に「人」に重きを置いた評価を行っています。

ゴールド評価は、IIPが認証した32000団体のうち2%弱のみに与えられており、同事業所の取り組みが非常に高く評価されたといえます。



地元の国會議員(左)から認定証を受ける社員



## 新入社員 イケミズのココが知りたい! SEIKOグループ

- Q** セイコーにとって、今も昔も変わらないCSRの取り組みは何ですか?
- A** 私たちの変わらぬテーマは「確かな品質」によって安心と満足をお届けること。

セイコーは、「CSR」という言葉が生まれるずっと前から、社会とのつながりを大切に社会とともに歩んできた会社なのよ。「常に時代の半歩先、一歩先を行く」という信条のとおり、日本初・世界初の商品を開発・発売したり、世の中に新たな価値を提案したりすることで、社会の発展を支え続けてきたの。「確かな品質」によって安心と満足をお届けることが、130年間変わらないCSRの取り組みと言えるわね。

詳しくはp.15「企業価値の系譜セイコーの130年」をご覧ください。



社会性報告

お客さまとともに

お客さまの多様なニーズに一つひとつきめ細かく対応することをカスタマーサービスの基本として、お問い合わせや相談、ご意見、修理依頼など、お客さまの声やご要望をしっかりと把握し、適切・迅速・公平な対応を心がけ、常にお客さまとの接点の深化をはかっています。

商品特性などを考慮したお客さま窓口

セイコーホールディングスグループは、事業会社ごとに商品特性などを考慮したお客さま窓口を設けています。セイコーウオッチ(株)では、お客様相談室を通じて年間6万件にのぼるお客さまの声にお応えするとともに、東京と大阪の窓口において、修理受付をはじめ、買物相談や時計についての情報発信などを行っています。お客さまから寄せられたすべての情報をデータベース化し、迅速に関係部門に送ることでカスタマーサービスの向上をはかっています。

セイコーウオッチ(株)では、お客様相談室を設置して、修理とお問い合わせに対応しています。ときには百年前のクロックが修理品として持ち込まれることもありまが、こうした場合でもお客さまの期待に応えるべく、最善の方策をご提案しています。

セイコーオプティカルプロダクツ(株)では、お客様相談室を通じて眼鏡の買物・修理の相談や依頼などにお応えしています。眼鏡は医療用具であることから、常に適正な対応に努めています。



セイコーウオッチ(株) お客様相談室 (東京)

設計仕様の性能に限りなく近づける修理

純正部品を使って、設計仕様の性能に限りなく近づける。セイコーウオッチ(株)では、修理の基本をこのように考えています。経済産業省のガイドラインに沿った純正品の保管はもとより、その保有期間を超えていても部品の在庫があれば、年1回販売店に配布している修理可能モデルの一覧表に記載しています。また、修理の技術料金を配布し、複雑な修理でなければ、店頭でお客さまに料金を確認していただけのようにしています。



マイクログラフで拡大してウオッチの修理内容を説明

継続的な品質の改善

お客さまに十分満足していただける商品・サービスを提供していくために、継続的な品質の改善に努めています。開発・設計・量産加工・サービス・情報体系の整備やマニュアル化など、業務の標準化に加え、社員一人ひとりの知識や経験の積み重ね、「確かな品質」を大切にする企業文化の醸成などを通じて、常に品質の向上をはかっています。また、商品やサービスの管理を組織的に行うために、品質マネジメントシステムISO9001の認証取得を各社で進めています。

模倣品の撲滅をめざして

セイコーホールディングスグループは、お客さま保護の観点に立って、1980年代の初めから模倣品を徹底排除するための取り組みを続けています。日本はもとより世界150以上の国・地域で商標を登録し、模倣品を製造・販売した者に対して法的措置をとるなど、断固たる態度で臨んでいます。

特に、世界最大の時計生産地である中国においては、中国政府・現地販売会社・弁護士との協力体制により、模倣品の取り締まりに努め、港や空港からの輸出の際に税関で差し止めて国外流出を阻止する「水際作戦」に力を入れています。

また、模倣品の輸入が深刻な問題となっているタイにおいても、水際作戦を有効に展開しています。模倣品摘発へのさらなる協力を呼びかけるため、2007年にバンコクにおいて、日本の時計メーカー2社と共同でタイ全土の税関職員60名を対象としたセミナーを開催しました。



摘発されたセイコーブランドウオッチの模倣品

新入社員 イケミズのココが知りたい! SEIKOグループ



イケミズくん

Q お客さまの声をどうやって商品開発に活かしていますか?



タニグチさん

A お客さま窓口と企画部門が連携して、よりよい商品づくりに取り組んでいます。

セイコーは、顧客満足向上を最優先課題にしている会社なの。だからお客さまの声は即座に担当に伝えられ、きめ細かくきちんと対応することが求められているの。新商品の企画段階で、企画担当者がお客さま窓口の社員向けに商品説明会を開いて、想定されるお客さまの声や、アフターサービス対応について意見を聴いているのよ。こうした連携によって、お客さまの声を商品づくりに活かしているの。



社会性報告

お取引先とともに

セイコーホールディングスグループの事業活動は、お取引先の皆さまとの協働で成り立っています。よりよい協働関係を保つために、関係法令を遵守するとともに、相互信頼を築くように努めています。

適正な購買取引を行うために

適正な購買取引のためには相互理解と法令遵守が不可欠です。セイコーホールディングス(株)は、企業倫理行動指針において独占禁止法や下請法をはじめとする各種法令を遵守し、適正な購買取引を行うことを事業の基本方針として定め、それぞれの事業会社においても徹底しています。

サプライヤー認定制度

セイコーインスツル(株)は2004年度よりサプライヤー各社の行動規範管理体制、経営状態、環境管理体制などについて調査を行い、一定の基準を満たしたサプライヤーを認定する制度を導入しています。現在、国内では約1500社を認定し、海外拠点も直接取引しているサプライヤーについても半数以上を認定審査しています(2011年度末)。2011年度は、紛争鉱物の不使用に関する設問などを新たに設け、引き続き認定率100%をめざしていきます。

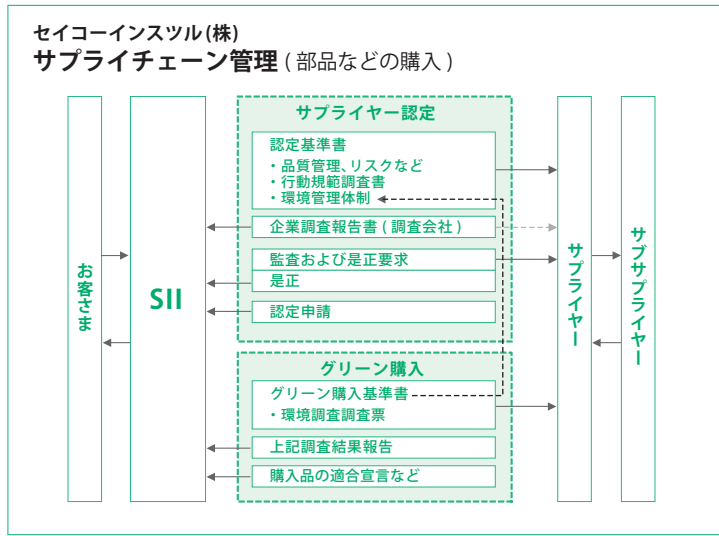
購買リスク管理

購入部品供給停止のリスクを最小限に抑えるため、セイコーインスツル(株)は、地震などの災害発生時にも迅速に対応できる代替先や代替品の選定はもとより、製造拠点を考慮したリスクマネジメントに取り組んでいます。東日本大震災やタイ洪水に起因する調達難の際にも、すみやかに状況を把握し、対応することができました。

流通販売店との協働

セイコーの商品が並ぶ店頭で、お客さまに商品の魅力・特性を正しくお伝えしていくために、流通販売店との間で商品についての正しい認識を共有する取り組みを進めています。それぞれの事業会社では、提案会、展示会、技術講習会、店頭訪問などを行い、流通販売店との協働関係の構築に努めています。店舗の業態・規模などに応じた宣伝・販売促進計画、店頭ディスプレイを提案するなど、販売に結びつく店頭づくりをサポートしています。

セイコーウオッチ(株)は、流通販売店との重要なコミュニケーションの場として、年2回提案会を開催し、新商品の特長だけでなく、開発の背景、対象としている消費者像、ブランド・ビジョンについてもご理解いただくように努めています。流通販売店を通じて、お客さまが知りたい情報をわかりやすく提供し、セイコーらしさを伝える努力を重ねています。



セイコーインスツル(株) サプライヤー認定制度 基本評価				
	優秀	良好	問題あり	不適合
行動規範管理体制	基本的な体制は整っている(合格)		基本的な体制が整っていない(不合格)	
経営状態	優秀であり、まったく問題なし	良好であり、取引上問題ない	若干の不安定要素があり、取引に注意を要する	問題があり、取引不適合
環境管理体制	80点以上(優)	50~79点(良)	50点未満	問題あり



セイコークロック(株) 販売展示会



# 社員のとともに

社会的責任を果たすと同時に、企業業績の持続的な向上をめざしています。

## 働きやすい職場環境づくり

セイコーホールディングスグループは、男女共同参画の考えに沿って雇用機会均等に努めています。また、次の世代を担うこともたちが健康やかに生まれ育つ環境をつくるための施策に取り組んでいます。さらに、障害者雇用促進法の改正に伴うさらなる雇用の促進、60歳の定年退職後も新たな雇用契約（1年更新の契約社員）により65歳まで就労可能な「再雇用制度」など、さまざまな施策を進めています。

## 次の世代を担うこともたちのために

セイコーホールディングスグループは、改正「次世代育成支援対策推進法」に基づき、2015年を目標とした行動計画を策定し推進しています。また、育児休業後の復帰支援や、福利厚生面での育児支援、年次有給休暇の取得促進などを通じて、仕事と子育てを両立できる環境づくりに努めています。

## 能力開発と仕事に専念できる環境づくり

社員の能力開発を支援するため、階層別の教育・研修を実施しています。また、業績貢献、職務発明、永年勤続といった社員の貢献に対する評価として、各事業会社では業種・業態に沿った表彰制度を設けています。

## 社員の安全と健康を確保するために

社員の安全と健康を確保するために安全衛生管理規則を定め、総括安全衛生管理者、衛生管理者、産業医などによる安全衛生委員会を設置しています。定期的な健康診断やストレスチェックテスト、健康相談窓口の設置などのほか、長時間労働による健康障害の防止やメンタルヘルスの保持・増進などの諸対策を実施しています。

## 多様性への対応

セイコーホールディングスグループは、障がい者雇用を積極的に進めています。セイコーホールディングス(株)および事業会社計9社は、特例子会社制度によるグループ適用の認定を受けており、法定雇用率を上回る多くの障がい者の方々を雇用しています。



障がい者雇用特例子会社(株)あおほウオッチサービス

## 新入社員 イケミズのココが知りたい! SEIKO グループ



イケミズくん

**Q** タニグチさんが入社した頃と比べて、今のセイコーってどんなところが変わりましたか？



タニグチさん

**A** 社員に対する基本姿勢を貫きながら、時代の変化に合わせてさまざまな制度を導入しています。

「社員一人ひとりが安心して働ける職場環境を実現する」という社員に対する基本姿勢は変わらないと思うの。教育や研修制度も以前からしっかりしていたわ。変わったことといえば、働く人の意識の変化やライフプランの多様化などに応えて、定年後も働くことができる制度や、仕事と子育てを両立できる環境づくり、障がい者の方々への雇用などを進めていることね。

# SEIKOではたらく人

## 商品企画

セイコークロック(株) 企画部  
江間 直子 (2005年入社)



目ざまし時計やキャラクター商品の企画、ライセンス契約締結の交渉業務などを担当しています。店頭で、自分の担当した商品を手取るお子さんを見たときはうれしかったですね。今後の目標は、高齢者や障がい者の方にも安心して使ってもらえる「人にやさしい」商品を企画すること。暮らしをより豊かにできる企画者をめざしています。

## 設計

セイコータイムシステム(株) 技術部  
菱沼 和久 (2006年入社)



設備時計やスポーツ時計計測機器、大型映像装置やスコアボードの外装設計を行っています。案件によって、電気設計担当者・工事関係会社やお客さまと相談しながら構造図面を作成します。海外を含めて出張が多いのですが、自分の設計・納入した製品がスポーツ競技や公共の場で使用されているのを見ると、出張の疲れも吹き飛んでしまいます。

## 調達

セイコー NPC(株) 生産管理部  
宮崎 政典 (1988年入社)



半導体の生産管理を担当しています。お客さまが要求する品質の製品を納期までにご提供するとともに、効率的な生産によって収益改善をはかるのが役目です。工場の生産性改善に取り組んだときは、問題点の早期発見で生産アップに成功しました。生産管理の面からモノづくりに関わり会社を良い方向に向かわせることができ、この仕事へのやりがいを感じました。

## 研究開発

セイコーインスツル(株) 先行技術開発部  
佐藤 未英 (2007年入社)



機械式腕時計に使われる歯車やバネなどの微細な部品の研究開発に携わっています。UV-LIGA\*という技術を活用し、多品種少量生産システムの構築が現在のテーマです。入社以来「師匠」として目標にしている大先輩のように、新しい発想を製品化に結びつけていくことのできる技術者になりたいですね。

\* UV-LIGA: 紫外線露光によって高精度な型を形成し、その型に対して転写性のよい電鍍(厚めっき)を行うことで、高精度な部品や金型をつくる方法。

## 宣伝販促

セイコーウオッチ(株) 広報宣伝部  
藤田 裕 (1997年入社)



セイコーメンズウオッチの国内宣伝販促を担当しています。宣伝販促では販売に直結する施策とブランド戦略のバランスが大事です。そのため、営業の経験を活かして発想し、営業・販売の現場の声を日ごろからくみ取ることが心がけています。また、タブレットPCなどの新しい製品・トレンドはとりあえずすべて試して実感し、仕事に活かさないが常に考えています。

## 営業

セイコーオプティカルプロダクツ(株) 国内販売部  
池田 直哉 (2009年入社)



眼鏡レンズ・フレームの代理店や眼鏡店への営業を担当しています。ユーザーにとって眼鏡は生活に不可欠な商品であり、責任の重さを感じています。また、光学など多くの専門知識が必要ですので、「知ったかぶりをしない」をモットーに、わからないことはすぐ確認しています。その点、社内には研修やテクニカルサポートなど、自ら進んで学ぶ環境が整っています。

## ソリューション営業

セイコープレジジョン(株) 営業統括部  
海野 俊 (2009年入社)



オンラインシステムの時刻管理を行うタイムサーバという製品の営業を担当しています。お客さまは、金融機関など正確な時刻管理が求められる業種が中心です。セイコーが築いてきた「正確」というブランドイメージを基盤に、市場が求める新たな価値を加えた製品・サービスをお客さまとの会話の中で見出し、提案していきたいですね。

## 小売

(株)和光 ウオッチ部  
太田 耕介 (2009年入社)



セイコーだけでなくスイスやドイツの輸入品を含めた全16ブランドのウオッチの販売を担当しています。和光には接客マニュアルがなく、日々、お客さまの言葉を聞き、何を望んでおられるのかを考えて行動することで、接客を学んでいます。再来店されたお客さまにご指名いただいたときは、私が和光の顔になったようで、言葉にできない充実感を感じました。

## 法務

セイコーホールディングス(株) 法務部  
小平 紀子 (1992年入社)



ウオッチや眼鏡などの海外における商標の調査・登録・維持業務を中心にしています。業務は各国の弁理士・弁護士に依頼して進めますが、自分でも各国法制度の最新情報の習得に努めています。事業会社のビジネスを知財・法務面からサポートする役目ですので、依頼事項に対しては経緯・背景などを丁寧にくみ取り、常にプラスアルファの回答ができるよう心がけています。

## アフターサービス

セイコーウオッチ(株) CS推進部  
堀場 篤 (2008年入社)



海外のアフターサービス用に技術資料を編集・英訳するほか、技術者向け講習会の準備・運営を担当しています。外国語であっても、常に自分の言葉で、相手に十分意図が伝わる丁寧なコミュニケーションを大事にしています。アフターサービスは企業の評価を左右するポイントであり、問題が起きてからの対応のみならず、先を読みサービスを企画する力が重要です。



# 地域・社会とともに

社会性報告  
セイコーホールディングスグループでは、地域・社会の繁栄、地域・社会との共存を目的に、さまざまな活動に取り組んでいます。

## スポーツ協賛活動

セイコーは1964年開催の東京オリンピックで、初めてオフィシャルタイマー（公式計時）を務め、世界に先駆けて総合的な電子計時システムを導入し、クォーツ時代の幕開けを飾りました。現在も、世界陸上をはじめ、水泳やスピードスケートなどさまざまな競技の大会で、最新の計測技術を駆使した計時支援を行い、世界中で感動の瞬間をサポートしています。



日本学生選手権水泳競技大会

## 海外での社会貢献活動

セイコーホールディングスグループ各社の海外現地法人は、それぞれの地域に密着したチャリティーやボランティア活動に参加することで、地域の活性化に貢献すると同時に、セイコーブランドの浸透に努めています。オーストラリアでは数々のスポーツ大会を支援しています。ボンダイビーチで毎年行われる有名なチャリティーイベント「シドニーハーフマラソン」では計時サービスを提供し、加えてスポンサーとしての寄付と賞品の計時を提供してサポートしました。英国では、病気や障がい移動が困難な人々を希望の場所に運ぶボランティア活動「People to Places」に協力し、社内で事務局や車両のためのスペースを年間を通して無償で提供したほか、資金集めのくじ引きに商品を提供しています。清掃活動やマングロープの植樹などの活動も積極的に、環境保全への貢献も世界各地で進めています。



オーストラリア「シドニーハーフマラソン」



英国「People to Places」

## 国内での社会貢献活動

セイコーホールディングスグループ各社は、それぞれの事業の特性を考慮し、地域の方々とコミュニケーションを深め、環境保全に貢献する活動に取り組んでいます。セイコーインスツル(株)は、工場見学を受け入れや地元の子童・生徒の就業体験に継続的に協力しています。盛岡セイコー工業(株)は、一般の方々に対象に機械式腕時計の組み立てが体験できる「メカ時計組立体験セミナー」を開催するほか、2008年から「地域とはじめる環境報告会」を開催しています。

セイコーNPIC(株)は、半導体工場が隣接する日光国立公園の豊かな自然を守るため、工場周辺のごみ拾いや、構内での植樹などを行っています。

セイコータイムシステム(株)は、NHK教育テレビのことも向け番組にアウトドアクロックを無償で貸し出すことで、「時計について学ぶ」教育に貢献しています。また、公園など公共の場所に設置されているシステムクロックは、30年以上にわたって正確な時間を伝え続けることで地域に貢献しています。最近では、ソーラー式やLED内部照明付きなど、環境に配慮した商品を開発しています。

(株)和光は、ホールやショーウィンドウを貸し出すことで、文化活動に貢献する一方、銀座地区の一斉清掃などに参加し、地域との結びつきを深めています。



盛岡セイコー工業(株)「メカ時計組立体験セミナー」

## 新入社員 イケミズのココが知りたい! SEIKOグループ



イケミズくん

**Q** 東日本大震災を受けてはじめた取り組みはありますか？



タニグチさん

**A** 復興支援プロジェクト「SEIKO 130 Actions」をスタートしました。

詳しくは p.16「SEIKO 130 Actions」をご覧ください。



## タイ洪水被害者の支援・復興事業に向けた寄付

セイコーホールディングス(株)、セイコープレジジョン(株)、セイコーインスツル(株)、セイコーウオッチ(株)は、2011年にタイで発生した洪水被害者の支援・復興を目的とし、タイ国王によって設立された社会貢献のための財団であるチャイバッタナファンデーシオンに1000万円の寄付を行いました。この洪水では、セイコーホールディングスグループも被害を受けましたが、長年にわたりタイで事業を展開する企業として、大きな被害を受けながら、タイを訪問し義捐金を手渡す様子は、現地のメディアで多数紹介されました。



タイを訪問し義捐金を手渡す様子は、現地のメディアで多数紹介されました。

## 「時」と「時計」を学ぶ、セイコーミュージアム

セイコーミュージアム(旧セイコー時計資料館)は、「時」と「時計」の研究資料の収集保存を主な目的として、創業百年の1981年に設立されました。日時計からはじまった時計の歴史、日本の時計産業の成立・発展の歴史などを紹介するとともに、セイコー創業時からのクロック、ウオッチを展示し、時計の進化を理解していただけるように努めています。



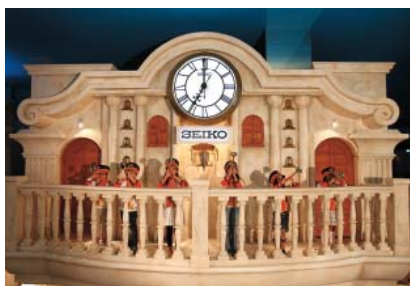
機械式時計の進化を説明

## 子どもたちの未来を育み、ともに豊かで美しい「時」を創造していくために

2012年、創業130周年を記念して内外装ともに大幅にリニューアル。日本有数の和時計コレクションコーナーやスポーツ計時機器体験コーナーを新設し、大人から子どもまでより多くの方々に楽しみ、学んでいただける施設をめざしています。

セイコーホールディングス(株)は、子どもが社会のしくみを学べることも街「キッサニア東京」「キッサニア甲子園」のオフィシャルスポンサーとして、街時計パビリオンを出展しています。このパビリオンは、子どもたちが「からくり時計」のパフォーマンスとなつて時を告げることで、人前で演じるプレゼンテーション能力を身につけながら、時間の意味や大切さを学ぶことを目的としています。

また、キッサニア施設外での仕事体験プログラムOmorokanaや、セイコーミュージアムでのワークショップで、子どもたちに時計の組み立てを実際に体験してもらつて、モノづくりの素晴らしさや大切さを伝えていきます。



街時計パビリオン (キッサニア東京)

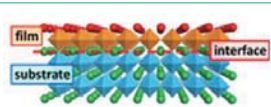


アウトオブキッサニア in すみだ (セイコーミュージアムにて)

## 新世代研究所 主な研究テーマ

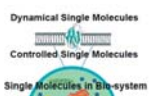
### 界面ナノ科学研究会

物質の性質は表面上に形成される界面が決定づけるとの観点から、最先端のナノ計測技術を駆使しつつ新しいナノ科学の可能性を探っています。



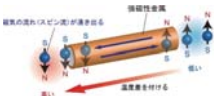
### バイオ単分子研究会

生命現象を真に理解するための1分子レベルの動的情報が空間的および時間的にどこまで計測可能か、どのような学問体系が今後必要となるのかを考察しています。



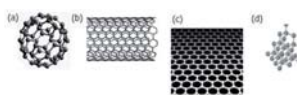
### スピントロニクス研究会

スピントロニクスの根幹を担う新奇なスピン変換に関わる物性の研究により、スピン変換を用いた新しいスピントロニクス機能を開発しています。



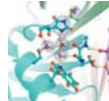
### ナノカーボン研究会

ナノカーボンの基礎から応用まで、また物理、化学、生物、工学、医学、応用などの広い分野にわたって調査研究を行い、統合的な科学と技術の発展に貢献しています。



### 水和ナノ構造研究会

ナノメートルレベルで生体内機能を司る高分子における水和ナノ構造を、J-PARCの中性子回折計およびさまざまな実験(中性子-X線解析、熱量測定、分光、遺伝子工学)、計算科学により解明しています。



公益財団法人 新世代研究所(略称ATI)はセイコーインスツル(株)が全面的に支援している団体です。1993年の設立以来、学術の振興に寄与することを目的とし、個性ある有能な研究者を集め、科学技術に新しい研究概念の創出をめざす研究活動や、新世代を担う若手研究者の支援などを行っています。現在は、主にナノサイエンス、ナノテクノロジー分野での研究を中心とした活動を行っています。また、異分野研究領域間の融合促進をはかるための学術研究活動も積極的に推進しています。

## 新世代研究所





環境報告

# 環境保全の課題解決に向けて

地球温暖化をはじめ、深刻化する環境問題の改善・解決に企業として貢献するため、環境会計の導入やCO<sub>2</sub>排出量の公表など環境の見える化の推進によって、幅広い分野で環境保全活動を進めています。

## 環境基本理念・方針

セイコーホールディングス(株)は、環境を経営の重要課題ととらえ、1998年に「環境方針」、1999年に「環境基本理念」を制定し、各事業会社と協働の取り組み体制を構築し、環境保全の課題解決に向けて組織的に取り組んでいます。

## 環境推進体制

セイコーホールディングスグループ各社の環境担当者が全体的な環境活動を連絡調整する場が「環境連絡会」です。環境連絡会では、5つある分科会それぞれの活動方針に基づき取り組みを進め、定期的な成果を報告・共有しています。さらに、定期的な外部講師を招聘して、社員を対象に「環境セミナー」を開催するとともに、イントラネットに「環境トピックス」を掲載し、各社が行っている最新の環境活動に関する情報を共有しています。

## 環境に配慮した商品

セイコーホールディングスグループ各社は、環境に配慮した数多くの商品を市場に送り出しています。また、お客様の製品の環境性能を向上するような製品、そして環境の改善に積極的に貢献する製品やサービスの創出に注力しています。

セイコーウォッチ(株)では、電池交換不要で環境負荷の少ない機械式時計、自動発電式時計、ソーラー発電式時計の売上高に占める割合が半分を超えています。また、世界初のソーラーGPSウォッチ「セイコーアストロン」は究極のエコウォッチでもあります。

セイコークロック(株)では、ソーラークロックをはじめ、グリーン購入法適合商品を中心に豊富なラインアップを揃えています。

セイコーインスツル(株)は、「グリーンプロセス」「グリーンプロダクト」「グリーンライフ」を基本コンセプトとするグリーンプランを策定し、環境経営を実践しています。2001年に自社基準による「シーグリーン商品ラベル」制度を導入し、2010年に「シーグリーン商品」累計1000商品を達成しました。さらに、「自社の製品が組み込まれることでお客様の製品の環境性能を向上できる」という考え方を「グリーンプロダクト」と名づけ、グリーン商品基準評価項目に取り入れて運用しています(左ページ参照)。

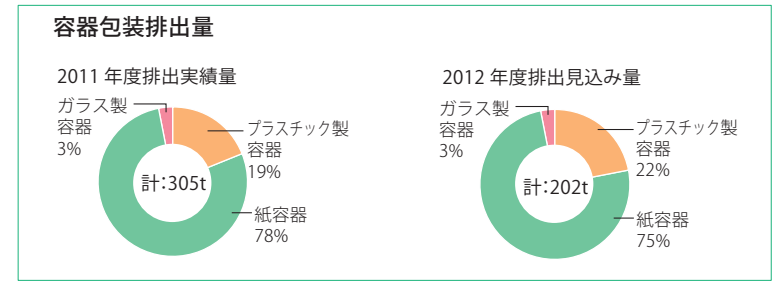
セイコープレジジョン(株)は、エネルギー監視・制御ソリューション「GreenTALK(グリーントーク)」を販売しています。接続性・拡張性・カスタマイズ性に優れている点が評価され、さまざまな業界に導入いただき、お客様の省エネルギー化に貢献しています。

## 循環型社会への貢献

セイコーホールディングスグループ各社は、製造事業所内での活動はもとより、商品・包装材のリサイクルや省資源化に取り組み、限りある資源を大切にしています。

セイコーサービスセンター(株)では、ボタン型電池を販売店から回収し、専門業者が分解して、再資源化しています。セイコーインスツル(株)など事業会社3社は、充電池小形二次電池のリサイクル推進に取り組んでいます。

(株)和光、セイコーウォッチ(株)をはじめ、全事業会社は、梱包材料の減量化、分別リサイクルを促進する商品表示に取り組むほか、排出量に応じ再資源化費用を負担しています。



## 新入社員 イケミズのココが知りたい! SEIKOグループ



**Q** 環境に配慮した商品で、身近なものには何がありますか?

**A** セイコーの腕時計は、多くの人の手元にエコを広げています。

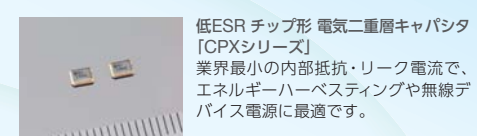
今セイコーでつくられている腕時計には、水銀を一切使用しない「無水銀電池」が使われているの。それに、クォーツでありながら定期的な電池交換が不要な「ソーラー」「キネティック」、ぜんまいで駆動し電池の必要のない「スプリングドライブ」「機械式」など、セイコーの腕時計はしくみそのものがエコなの。その優れた省エネ・省資源特性が認められ、(財)日本環境協会から「エコマーク」の認証を取得したのよ。

## セイコーインスツル(株) グリーンプロダクトおよびグリーンプロダクトplusについての考え方

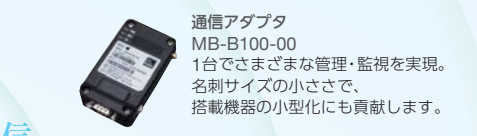
### グリーンプロダクトplus

SIIの製品そのものの環境性能を向上する取り組みに加えて、「SIIの製品が組み込まれることでお客様の製品の環境性能を向上できる」、また「人々が生活する環境の保全に貢献できる」という独自の考え方を「グリーンプロダクトplus」と名づけ、製品やサービスの創出に注力しています。2011年度はこのグリーンプロダクトplusとしての貢献度をSIIグリーン商品基準の評価項目に取り入れて運用を開始しました。

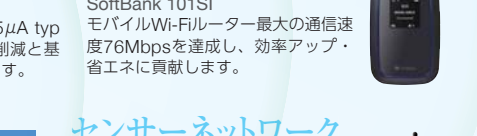
### エネルギーソリューション



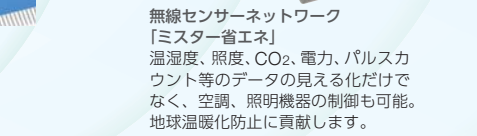
低ESR チップ形 電気二重層キャパシタ [CPXシリーズ] 業界最小の内部抵抗・リーク電流で、エネルギーハーベスティングや無線デバイス電源に最適です。



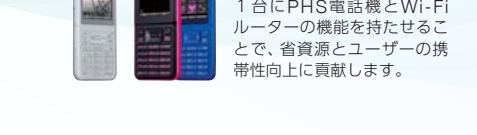
通信アダプタ MB-B100-00 1台でさまざまな管理・監視を実現。名刺サイズの小ささで、搭載機器の小型化にも貢献します。



モバイルWi-Fi-フィルター SoftBank 101SI モバイルWi-Fi-フィルター最大の通信速度76Mbpsを達成し、効率アップ・省エネに貢献します。



無線センサーネットワーク 「ミスター省エネ」 温湿度、照度、CO<sub>2</sub>、電力、パルスカウンタ等のデータの見える化だけでなく、空調、照明機器の制御も可能。地球温暖化防止に貢献します。



PHS電話機 PORTUS (WX02S) 1台にPHS電話機とWi-Fiルーターの機能を持たせることで、省資源とユーザーの携帯性向上に貢献します。

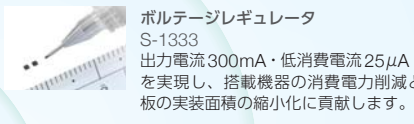
### グリーンプロダクト

製品自らの環境性能を向上

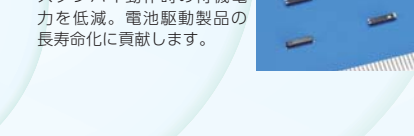
### グリーンプロダクト plus

お客様の製品の環境性能を向上 人々が生活する環境の保全に貢献

### 次世代通信



パルテージレギュレータ S-1333 出力電流300mA・低消費電流25μA typを実現し、搭載機器の消費電力削減と基板の実装面積の縮小化に貢献します。



水晶振動子 SSP-T7-FL スタンバイ動作時の待機電力を低減。電池駆動製品の長寿命化に貢献します。

### 身近なところに



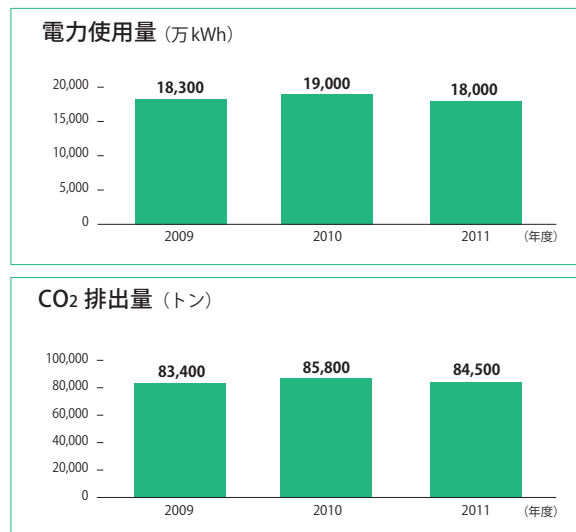
電子辞書 一すべてがSIIグリーン商品ー液晶の保護にSII独自のダンパーシエル構造を採用し、堅牢性に優れています。 SR-G9003NH3



SIIの技術理念 「匠」:一歩進んだものを、 「小」:ミニマムサイズで、 「省」:環境にやさしく創ること。 これを「SYO」ismとして表しています。

地球温暖化防止

セイコーホールディングスグループは、環境会計の導入やCO<sub>2</sub>排出量の公表など環境の見える化の推進により、商品の開発・製造・販売サービスなどさまざまなプロセスにおいて、地球温暖化ガスの低減に取り組んでいます。



環境格付を取得

セイコーホールディングス(株)は、2011年12月に日本政策投資銀行 (DBJ) が実施する「DBJ環境格付」において「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得し、それに基づき融資を受けました。「DBJ環境格付」は、同社のスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営度を評価し、得点に応じて3段階の金利を設定する融資メニューです。当社は特に環境関連のマネジメント体制、エコプロダクツなどが高く評価されました。



DBJの山本常務より認定証を受け取る服部会長

節電対策

セイコーホールディングスグループ各社は、ライトダウンや既存エネルギー設備の運用改善など、さまざまな節電対策に取り組んでいます。

セイコーNPC(株)では、コジェネレーション(熱電併給)設備の導入や、ヒートポンプ採用の補助装置による工場稼働の効率化などを推進しています。セイコープレジジョン(株)では空調・照明・エレベータからトイレに至るまでのこまめな対策に加え、契約電力の引き下げで大幅な節電を実現しました。セイコーインスツル(株)では温度・湿度・照度をCO<sub>2</sub>・電力量などを測定する自社製の無線センサーネットワーク「ミスター省エネ」を事業所やグループ会社で導入し、安価で簡単に「見える化」と「省エネ」を実現しています。

セイコープレジジョン(株) 電力使用量



環境会計

セイコーホールディングスグループは、環境保全活動のコストと効果を連結ベースで集計しています。2011年度の環境保全コストは、設備投資額が813百万円、費用額が2198.2百万円でした。その結果、事務用紙削減138万枚、廃棄物削減85トン、容器包装削減73トンといった量的な効果のほか、経済的効果として廃棄物リサイクル売却による319.6百万円の実収入や、費用削減・新規材料抑制・環境リスク回避などにより762.6百万円の費用削減を達成できました。

環境会計

環境保全コスト

分類	主な取り組み	設備投資額 (百万円)	費用額 (百万円)
1. 事業エリア内コスト (内訳) 公害防止コスト 地球温暖化防止コスト 資源循環コスト	水質・大気・騒音など公害防止に関すること 地球温暖化防止、オゾン層保護に関すること 省資源、廃棄物の削減・リサイクル、購入抑制など	812.4 (22.7) (789.7) (0.0)	1,455.3 (642.7) (447.4) (365.2)
2. 上流下流コスト	グリーン購入、環境ラベル、リサイクル (電池・容器包装)	0.0	154.8
3. 管理活動コスト	環境教育、環境マネジメントの構築・維持、環境情報の開示	0.0	327.4
4. 社会活動コスト	環境保護団体、地域への支援など	0.0	10.4
5. 研究開発コスト	環境関連研究開発、図書費	0.6	229.6
6. 環境損傷コスト	土壌汚染調査対策	0.0	20.8
合計		813.0	2,198.2

環境保全効果

(1) 量的効果

項目	削減抑制量
CO <sub>2</sub> 削減	1,300 t
電力削減	975万 kWh
事務用紙削減	138万枚
廃棄物削減	85 t
用水削減	57千 m <sup>3</sup>
容器包装削減	73 t
新規材料抑制	585 t

(2) 経済効果

主な取り組み	経済効果 (百万円)
実収入効果 廃棄物リサイクル有価売却	319.6
費用削減・抑制効果 費用削減・新規材料抑制・ 環境リスク回避など	762.6

※1 設備投資額は、環境保全費用の中から減価償却資産のみを記載。  
 ※2 ウォッチ、レンズ・フレームなどの製造を依頼している企業での研究コストは除く。  
 集計範囲：持株会社1社、事業会社8社  
 セイコーホールディングス(株)、セイコーウォッチ(株)、  
 セイコーインスツル(株)、セイコープレジジョン(株)、  
 セイコーNPC(株)、セイコークロック(株)、  
 セイコーオプティカルプロダクツ(株)、(株)和光、  
 セイコータイムシステム(株)

社長メッセージ

社会に信頼される会社であるために

セイコーホールディングス(株)および各事業会社の事業活動とCSR活動をコーポレートレポートとしてまとめました。

セイコーホールディングスグループの事業内容は、時計から電子部品、眼鏡、小売と多岐にわたり、創業以来多くの皆さまのご支援に支えられてきました。

これからも「確かな品質」の商品とサービスによって、130年以上にわたって皆さまに育てられてきたセイコーブランドの価値をさらに高めていきたいと考えています。

当社は「社会に信頼される会社であること」を基本理念と定め、経営の透明性・公正性の確保を重要課題として取り組んでおります。

その一環として、社内意思決定プロセスの充実と経営評価体制の強化を行い、外部への情報発信も、決算説明会やウェブを通じて適時・適切に行われる体制を整えてまいりました。

また、環境問題も当社グループにとって重要課題です。事業運営の過程において発生する廃棄物やCO<sub>2</sub>の削減を積極的に進めるとともに、環境に優しい商品を拡充しております。

さらに当社グループでは、東日本大震災の被災地復興に微力ながら貢献すべく、創業130周年にちなみ「SEIKO 130 Actions」と銘打ち2014年3月10日までの間に会社と社員が130以上の支援を行うことをめざして活動を推進しております。

このコーポレートレポートには、以上のような当社グループの活動が紹介されており、「お客さま」「株主」「お取引先」「地域・社会」などステークホルダーの皆さまに、セイコーホールディングスグループについてご理解いただく一助となれば幸いです。



セイコーホールディングス株式会社  
代表取締役社長

中村 吉伸